

心つないで

No.69

発行

2015年11月9日

東日本大震災

ろっこう医療生協・危機管理室(室長・金丸正樹)

(ろっこう医療生協・本部内 TEL 078-802-3424)

2015年秋支援・第1陣・加島看護師(灘診)、原事務員(六甲道診)、
金丸副理事長の大船渡報告

大船渡支援・再開



●被災地大船渡市への秋季支援が再開しました。第1陣は、11月2日から4日まで。市内の仮設住宅を訪れ、歌体操や懇談を取り組みます。発災から4年8か月たちますが、変わること変わらぬこと、さまざまです。

・2日、いわて花巻空港から雨の中を越喜来(おきらい)地区の杉下仮設に直行、訪問。歌体操を行いました。参加は女性が6人、男性が1人でした。支援員さんも一緒に賑やかに歌体操で体を動かししました。【写真・左】

・その後全員の血圧測定【写真・右】、神戸から持参のお菓子で茶話会。「今、いちばん困っていることは何ですか？」の問いに「特に無い。ただ、住むところが欲しい」と。



・4日朝、盛小学校の校庭に建つ沢川仮設住宅を訪問。支援員さんとお話しました。「今、この仮設に約30世帯の方がおり、その方たちもほぼ行き先は決まっています。来年秋にはこの仮設も無くなる。ただ、みんなばらばらになるのが寂しいですね」と。【写真下は建設された復興住宅】



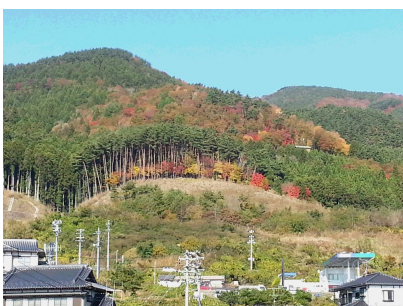
・陸前高田の「復興まろづくり情報館」横に、石川啄木の碑。「頬に伝うなみだのごはざ一握の砂を示しし人を忘れず」と。【写真・下】



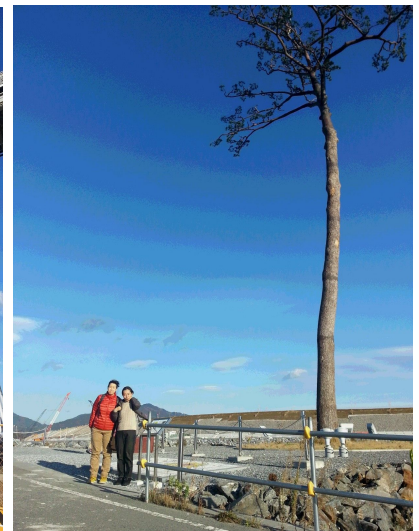
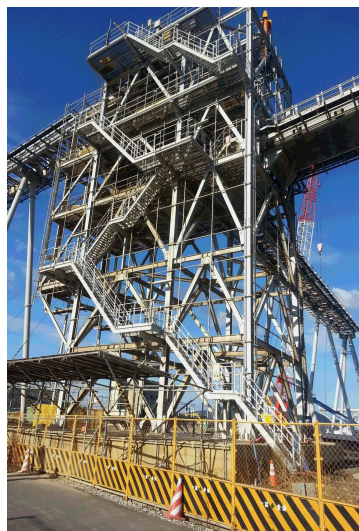
・沢川仮設の支援員さんと【写真・上】。このあと、退去して空室になった部屋を見学させていただきました。支援員さんも、この仕事は来年3月までとのこと。

まち全体が工事中 《陸前高田市》

・3日、車で南下して陸前高田市のまちを視察しました。津波で一網打尽となった旧市街地は、全体が橋梁建設や土地かさ上げの工事の真っ只中。海際に、レプリカとなった「奇跡の一本松」が佇立しています。【写真・右】



・岩手の山々は、紅葉の盛り。常宿の大船渡温泉の向かいの山も中腹まで見事に色づいています。【写真・左】花巻から大船渡への道中の北上山地も、通過するのが惜しい、絶景でした。



●「さんま祭り」の収益金174,379円を大船渡市に贈ります (第4陣にて)